

6 次 産 業 化 推 進 整 備 事 業 実 施 計 画

記入例（食品産業事業者の場合）

事業実施主体名	株式会社 東京食品	
都道府県 市町村名	東京都千代田区	
実施要領（以下、該当する箇所を○で囲むこと）		
第4 事業実施主体	1 農林漁業者団体	○2 食品産業事業者
第5 事業内容	1 農林漁業者団体が自ら行う6次産業化の取組	○2 農林漁業者団体等と食品産業事業者が連携して行う6次産業化の取組
六次産業化法及び農商工等連携法		
事業計画における 事業名	摘果メロンを有効活用した漬物の開発、製造及び販売	

1 事業実施主体等の概要

記入例

(1) 事業実施主体の概要

法律の事業計画認定状況			
法律名	事業計画名	認定状況	認定(申請)年月日
地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律	総合化事業計画	認定済 申請中	年 月 日
中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律	農商工等連携事業計画	認定済 申請中	○年△月×日
(ふりがな)	(かぶしきがいしゃ とうきょうしょくひん)		代表者
事業実施主体の名称	株式会社 東京食品		役職名 代表取締役
主たる事務所の所在地	(〒100-0000)		氏名 東京 次郎
	東京都千代田区〇〇〇		性別 男
			電話番号 03 - 3502 - 2100
			FAX番号 03 - 3597 - 0142
事業実施場所(住所)	同上		E-mail 〇〇〇〇@〇〇.〇〇.jp
種類	株式会社	設立年月日 平成〇〇年〇月〇日	重複申請の有無 有・ 無
業種	製造業	資本金(出資金)① 20,000千円	
事業実施主体の概要	<p>弊社は、平成〇〇年〇〇月に設立し、キムチやヨーグルト等を中心に発酵食品製造の事業を展開しております。現在の年商は約〇〇円で、代表的な商品に「〇〇〇」があり、.....</p> <p>都内のスーパー、物産展、駅構内の土産店等と取引をしております。</p> <p>「健康の源は食から」をモットーにし、.....発酵食品を通して消費者に安心な.....</p> <p>.....を取り組んでいます。</p>		
事業実施主体の事業内容	<p>弊社は従業員〇名で、加工部門、販売部門、研究開発部門をおき、.....発酵食品に特化した経営を展開しております。</p> <p>.....これまでは、「〇〇」や「〇〇」などの業務用惣菜としての発酵食品を開発してきました。</p> <p>しかしながら近年は、食の欧米化に伴い、漬物の消費量が低迷しており、特に若者の漬物離れが著しく.....</p> <p>乳酸菌を添加することにより.....若者や女性にも訴求力の高い新感覚の漬物開発に取り組んでおります。</p> <p>.....日本食の回帰と食力自給率の向上を目指しております。</p>		
過去の類似関連事業の実績、実施内容等	平成19年度〇〇〇〇研究開発事業【△△県事業】・・・(漬物用の乳酸菌の開発 補助金額1,700千円)		
事業実施主体又は、事業担当者の業績等	<p>当社の主力商品である〇〇〇〇の開発</p> <p>〇〇〇研究所と共同で△△△プロジェクトに3年間従事し、〇〇を開発(特許出願中)</p> <p>〇〇〇マイスターの資格を取得し、ホテルのシェフと連携して△△を実施</p>		
事業担当者名	千葉 三郎		

構成員(出資者等)

氏名	性別	住所・所在地 (都道府県市町村名)	業種	事業実施主体における役職名	出資金②		備考	
					千円	出資等比率②÷① %		
					千円	%		
					千円	%		
			記載しなくてもよい		千円	%		
					千円	%		
					千円	%		
					千円	%		
					千円	%		
雇用に関する目標 ※構成員に3戸以上の農林漁業者 を含まない団体のみ記載		申請時 (平成 年度)		1年度目 (平成 年度)	2年度目 (平成 年度)	3年度目 (平成 年度)	4年度目 (平成 年度)	5年度目 (平成 年度)
		人		人	人	人	人	人

- 注 1 「種類」の欄には、「農業協同組合」、「森林組合」、「漁業協同組合」、「株式会社」、「合名会社」等のほか、事業協同組合等にあつては根拠法に基づく正式名称を記入し、その他農林水産物の生産、加工等を営む任意団体及び農作業の共同化等を行う任意団体にあつては「任意団体」と記入すること。
- 2 「業種」の欄には、日本標準産業分類における業種を記入すること。(農業、林業、漁業、製造業等)
- 3 「事業内容」の欄には、定款又は規約等で定める事業内容の全てを記載すること。
- 4 本事業以外に国、その他公的支援が受けられる事業に応募の場合は「重複申請の有無」の欄で有を選択し申請中の事業名及び事業概要を記入すること。
- 5 内は事業実施主体が農林業業者団体である場合のみ記入すること
- 6 「事業実施主体における構成員(構成員等)」の欄には、その全てを記入すること。ただし、構成員が法人の場合は、法人名及び代表者名を記入するとともに、該当する事項を記入すること(事業実施主体が事業協同組合等の場合の組合員を含む。)。また、「株式会社」等にあつては、「出資者」等を記入すること。
- 7 「事業実施主体における役職名」の欄には、農事組合法人は「理事」、株式会社は「取締役」、合名会社、合資会社等は「代表」等と記入すること。
- 8 「備考」の欄には、農業生産法人である場合に農地法第2条第3項第2号に掲げる要件のいずれかを記入すること。この場合常時従事者は「常」、農地等の使用収益権を移転・設定しているときはその旨を記入すること。
- 9 「雇用に関する目標」の欄の目標年度においては3人以上とすること。
- 10 今年度既に採択が決定及び実施している事業があれば枠を追加し事業名及び事業概要を記入すること。

(2) 連携事業者の概要

注 実施要領第2の2を選択した者のみ記載

	名称	住所	代表者名	資本金	業種	連携農林水産物
1	農林 一郎	〇〇県〇〇市〇〇〇〇	—	—	農業	メロン
2	霞 二郎	〇〇県〇〇市〇〇〇〇	—	—	農業	メロン
3	千代田 三郎	〇〇県〇〇市〇〇〇〇	—	—	農業	メロン
4	農業生産法人メロンファーム	〇〇県〇〇市〇〇〇〇	〇〇 〇〇	6,000千円	農業	メロン
5						
6						
7						
8						
9						
10						

注1 「業種」の欄には、日本標準産業分類における業種を記入すること。(農業、林業、漁業、製造業等)

2 事業の概要

<p>事業の内容 及び実施方法</p>	<p>(1) 事業の内容(新商品の名称、概要、セールスポイント等) 【注】どのような新商品を製造・販売するのか、その商品名、概要、セールスポイント(商品の新規性、原材料の先進性や独自性、製造工程の先進性など)をできるだけ詳しく記載してください。</p> <p>メロン栽培では大玉果実の生産を目的に、摘果(余分な果実を取り除く作業)を行います。作付けごとに排出される摘果メロンの量は〇t/10aと膨大であるものの、それらはこれまで活用されることなく廃棄されてきました。今回は、その摘果メロンを有効活用し、当社が持つ発酵技術により「メロン漬け(漬物)」を新商品として製造・販売していく取組であり、そのために必要となる加工機械・施設を整備します。</p> <p>当社では平成17年から〇〇食品バイオ研究所と共同で漬物に適した植物性乳酸菌の研究開発を行ってきましたが、この度、漬物の発酵に最も適したと思われる乳酸菌ラクトバチルス〇ー〇の分離に成功しました。この乳酸菌を用いて低温で……………</p> <p>また今回連携するメロン栽培農家は、化学合成肥料、化学合成農薬を一切使用せず、有機栽培にこだわった篤農家であり、漬物の原料となる「摘果メロン」も高い品質を備えております。年間を通じて原材料の安定供給を行うために、3名の個人農業者および1農業生産法人と契約を交わし、安定的取引を行います。</p> <p>「メロン漬け」は、メロン独特のフルーティな風味を残しつつ、歯触りのよい新食感な新商品であり……………に取り組みます。</p> <p>(2) 実施方法 【注】原材料の調達方法や新商品の製造方法、整備する機械・施設の活用方法等をできるだけ詳細に記載してください。</p> <p>①原材料となる「摘果メロン」の調達方法 原材料の摘果メロンは、連携農家から定期的に当社が引き受けます。促成メロンについては〇〇氏から、夏秋メロンについては、〇〇氏から引き受け、年間を通じて、安定期的に原材料確保できる体制とします。摘果したメロンは品質が低下しないよう冷蔵庫で保管し……………を実施します。</p> <p>②新商品の製造方法 入荷した原料はしっかりと品質チェックを行い、全て冷蔵庫で温度管理します。メロンの洗浄作業は機械で行いますが、さらに人間の目でチェック、メロンについたゴミ等を除去します。……………乳酸菌の添加は……………を行います。</p> <p>今回整備する製造ラインを通して、商品のパック詰めから商品の異物チェックまでスピーディーかつ安全に行い、……………従業員は各工程での検査基準をしっかりとチェックし、消費者に安心して食べてもらえる漬物づくりに心がけております。</p>
<p>事業の効果 (自らの経営改善 の他、地域農業、 地域経済への効果 等を記入)</p>	<p>【自らの経営改善について】 漬物の製造ラインを導入することで、これまで手作業で行っていた工程を自動化し、経費の削減を図ることで…………… また、新商品の開発により、大手量販店と契約を結ぶなど新たな販路確保に…………… ……ことで経営向上を図ります。</p> <p>【地域農業への効果】 これまで捨てられていた摘果メロンを有効活用することにより、摘果メロンが新たな換金作物として位置づけられ…………… メロン農家の所得確保に貢献できます。</p> <p>【地域経済への効果】 フルーツ感覚の新たな漬物を開発することで、女性や若者をターゲットに新たなマーケットを開拓し…………… ……など地域経済へ貢献できるものと考えております。</p>

事業の スケジュール	平成○年○月 加工施設の建設着工 平成○年○月 完成 平成○年○月 加工開始 平成○年○月 製品出荷
---------------	---

注1 業務規程別記1の第2の2を選択している場合は、「事業の内容及び方法」に「新商品」の ①名称 ・ ②概要 ・ ③セールスポイント を必ず盛り込むこと。

3 機械・施設の設置計画 … 業務規程別記1第6の1の(1)のウ及びエ

	機械名	用途	処理能力	規格・形式	設置台数	総事業費(円)	負担区分(円)				融資先		竣工予定年月日	備考	
							国庫補助金	自己資金		その他	金融機関名	償還年数			
								うち借入金							
機械	冷蔵庫	メロンの保存	〇〇L	RT-12	1	2,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000		〇〇銀行	4	25.2.1		
	野菜洗浄機	メロンの洗浄	〇kg～〇kg/〇回	YS-2-187	1	2,450,000	1,225,000	1,225,000	1,225,000		〇〇銀行	4	25.2.1		
	金属探知機	異物混入のチェック	〇kg～〇kg/〇回	YS-2-188	1	1,000,000	500,000	500,000					25.2.1		
	合計						5,450,000	2,725,000	2,725,000	2,225,000					
施設	施設名	種類名	構造・規格		着工予定年月日	総事業費(円)	負担区分(円)				融資先		竣工予定年月日	備考	
	食品加工施設	建物	鉄骨平屋建 15.00m×10.5m =157.5㎡		24.10.1	40,000,000	国庫補助金	自己資金		その他	金融機関名	償還年数			
								うち借入金							
合計						40,000,000	20,000,000	10,000,000	10,000,000	10,000,000	〇〇銀行	4	25.2.1	その他は〇〇市補助	
機械・施設の合計						45,450,000	22,725,000	12,725,000	12,225,000	10,000,000					

注1 「用途」の欄には、「〇〇のカット」、「〇〇の冷蔵」、「〇〇の梱包」等当該機械が備えている機能を記入すること。

2 「融資先」には「借入金」がある場合記入すること。

3 「施設名」には、「〇〇食品加工施設」、「〇〇育苗施設」等を、「種類名」の欄には、「建物」、「電気設備」、「空調設備」等を記入すること。

4 「機械・施設の合計」には機械、施設の「総事業費」、「負担区分」の合計を記入すること。

5 複数の機械・施設を導入する場合は、欄を追加し記入すること。

4 機械・施設の利用・計画 …… 業務規程別記1第6の1の(1)のエ

機械・施設名	対象農林水産物 連携農林水産物名	利用期間	利用日数	月別利用計画												年間処理・生産量	備考	
		目標	目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
冷蔵庫	メロン	通年	365 日	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	〇〇 トン	
野菜洗浄機	メロン	11月～7月	90 日	10	10	10	10					10	10	10	10	10	〇〇 トン	
金属探知機	メロン	11月～7月	90 日	10	10	10	10					10	10	10	10	10	〇〇 トン	
			日														トン	
			日														トン	
			日														トン	
			日														トン	
			日														トン	
			日														トン	

- 注1 複数の機械・施設を導入する場合は、機械・施設ごとに記入すること。
 2 複数の農林水産物について利用する場合は、農林水産物ごとに記入すること。
 3 「利用期間」については、「通年」、「〇月～〇月」等分かるように記入すること。
 4 「月別利用計画」については、原則として、事業対象の農林水産物処理量を記入すること。

(2) 食品産業事業者

経営全体の収支計画

	1年度目(25年3月期)	2年度目(26年3月期)	3年度目(27年3月期)	4年度目(28年3月期)	5年度目(年 月期)
①売上高	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	千円
②売上原価	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	千円
③売上総利益(①-②)	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	千円
④販売費及び一般管理費	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	千円
⑤営業利益(③-④)	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	〇〇 千円	千円

注1 様式については記載項目の追加等、適宜変更して記載してよい。

2 この様式に準ずる既存収支(データ等)がある場合、その写しを添付してこれに代えることができる。

8 機械・施設の規模決定根拠 …… 業務規程別記1第6の1の(1)のウ

使用機械	処理能力	年間稼働日数	1日当たり稼働時間	年間処理量
冷蔵庫	〇〇L	通年	24時間	〇〇t
野菜洗浄機	〇〇kg/h	〇〇日	〇時間	■ ■ t
金属探知機	〇〇kg/h	〇〇日	〇時間	■ ■ t

目標	年間製造量 (t)
新商品の製造目標	〇〇t
原材料の取扱目標	〇〇t

【規模決定根拠】

新商品(メロン漬け)の年間製造量および原材料(摘果メロン)の年間取扱量、機械の年間稼働日数、1日あたりの稼働時間等をもとに、妥当な機械の処理能力を勘案し、機械の規模決定根拠とした。

使用施設

加工施設(〇〇m²)

【規模決定根拠】

- 1 漬物加工ラインのスペース(△△m²)
機械ラインは〇〇m×△△mで、作業スペースの確保などから〇〇m²が必要(平面図を参照)
- 2 貯蔵スペース(〇〇m²)
冷蔵庫の容量をもとにスペースを算出(平面図を参照)。

注1 この様式に準ずる既存書類(データ等)がある場合、その写しを添付してこれに代えることができる。

11 専門用語の説明

これまでの記述内容に関して専門用語がある場合は下記に説明を記載すること。

用 語	説 明
乳酸菌ラクトバチルス